

# 世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ペルー共和国・リマに所在する「ペルー栃木県人会」の渡辺様に、同県人会の活動について執筆いただきました。渡辺様、ありがとうございました。ペルー栃木県人会の皆さまのますますの御活躍を期待しています。※掲載を希望される皆さまからの御連絡をお待ちしています！

## ペルー栃木県人会

事務局 渡辺 宏美

¡HOLA! 皆さん、こんにちは。

ペルー栃木県人会のご紹介です。私たちの活動拠点は南米大陸、ペルー共和国の首都リマです。日本から見ると地球の反対側に位置しているの



で、栃木が冬のときリマは真夏。これからリマっ子が大好きな夏が始まります。去年の夏はコロナウィルス対策で、ビーチへのアクセスが制限されていましたが、今年は解除されたのでみんな楽しみにしています。ペルーはアンデスやアルパカ、マチュピチュ遺跡の印象が強いので、ビーチ？と首をかしげる方もいらっしゃるかもしれませんが、海岸線はエクアドルからチリまで長く伸びていて、素晴らしい場所がたくさんあります。そして、海の幸も豊富で美味！特に「セビーチェ」という、新鮮な生の魚介をフレッシュ



▲セビーチェ

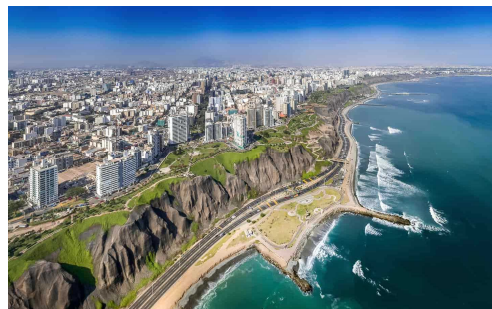
ユライムの果汁でマリネした料理は絶品で、ペルー人だけではなく在住の日本人も、世界各国からの旅行者も、誰もが大好きな一品です。

さて、栃木県人会は1982年に活動が始まり、会員は現在67名。メンバーは栃木県出身の移民の二世、三世、四世が中心です。ですから、日本語ができるメンバーは少数で、会話のほとんどはスペイン語です。あまり知られていませんが、ペルーは南米で初めて日本人が移民として入った国であり、とても連帯が強く、郷土愛に富み、多彩な人材を誇る日系人コミュニティがあります。私たちは、主にリマの日系人協会と連携して活動しています。

残念なことに、コロナ禍で今までのやり方での活動やイベントができなくなってしまい、どうやって会を盛り上げていこうかと考えていたところ、若いメンバーからアイデアが出て、今年、県人会として初めてオンラインイベントを開催しました。栃木県の魅力をオンラインで発信するものです。栃木市で活動するお囃子保存会に特別出演して頂いたり、準備段階で栃木市国際交流会会員の方にご助力頂いたり、更には紹介するトピックを集める段階で、メンバー自身が改めて「栃木県ってどんなところなのか」について理解を深められたり…と、イベント当日だけでなく準備も含めて、とてもよい活動、交流、そして発信が実現しました。参加者は日本語や日本文化に関心の高い10代と20代の人たちが多く、中にはメキシコから参加してくれた人も。「日本に行ったら絶対栃木でいちご狩りする！」とか、「栃木って聞いたことなかったけど面白そう。」「映画のロケ地回りしたい。」「東京からも近いし、行ってみたい。」「よし、餃子食べに行くぞ。」等、とてもポジティブなコメントが寄せられ、嬉しい手ごたえを感じました。今後も、いろいろな形で多世代が楽しく参加できるような活動を通して、栃木県とペルーをつないでいけたらと考えています。



▲リマ旧市街世界遺産地区



▲海から見たリマ